

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	鋼構造座屈小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会	主 査 名：竹内 徹 就任年月：2009 年 4 月
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「鋼構造座屈設計指針」2009 年改定後の検討テーマの抽出および研究成果の PD 等を通じての公表，さらに内外の意見を反映した上で出版物としての取り纏め。</p> <p>2009 年度：指針改定に伴う講習会の実施および内容の再レビューを行い，検討すべき座屈設計に関するテーマの絞り込みを行う。</p> <p>2010 年度：各テーマごとの具体的な調査・研究を実施し，委員会内での意見交換を通じ修正，充実させる。</p> <p>2011 年度：取り纏めた資料・提案を大会 PD で公表し，内外の意見を問う。</p> <p>2012 年度：意見を反映させた資料・提案を出版物「鋼構造物の座屈に関する諸問題 2012」として執筆・編集。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無し</p> <p>主査：竹内徹 (東京工業大学)</p> <p>幹事：五十嵐規矩夫 (東京工業大学)</p> <p>委員：多田元英 (大阪大)，荒木慶一 (京都大)，井戸田秀樹 (名工大)，金尾伊織 (京都工繊大)，木村祥裕 (長崎大)，田川浩 (名古屋大)，藤本益美 (大阪市大)，小崎均 (日建設計)，宇佐美徹 (竹中工務店)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2009 年度予算	430,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 「鋼構造物の座屈に関する諸問題 2012」に向けた検討テーマとして 14 テーマを抽出し，執筆担当委員を確定すると共に，複数のテーマに関し実験・解析等の検討を実施し，新たな知見を得ることが出来た。</p> <p>2. 上記項目中、5 つのテーマについて大会での PD を計画し，現在内容を執筆中。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 委員が日本各地に散在しているため，交通費がかかる。このため普段は各委員で検討を進め，年 3～4 回に集約して集中的に審議を行っている。</p> <p>2. テーマの検討には実験等の費用も発生するため，委員各自の外部資金獲得努力が必要となる。</p>